

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院内分泌代謝科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2011 年 1 月 1 日 ～ 2023 年 6 月 30 日の間 に、クッシング病 のために虎の門病院内分泌代謝科・間脳下垂体外科に入院・通院し、 経鼻的手術を受けられた方

【研究課題名】

クッシング病術後の血中コルチゾール動態に基づく副腎皮質機能回復と再発予測の検討：trajectory 解析の応用

【研究の目的・背景】

クッシング病では手術後しばらくのあいだ、体内のコルチゾールがうまく作られず、薬として補う必要があります。さらには再発にも注意が必要です。しかしながら「コルチゾールが元の正常なホルモンバランスに戻るか」、および「術後再発が起こるか」を予測する明確な指標がまだありません。

この研究では、手術後すぐの血液検査結果（コルチゾールや ACTH というホルモンの値）が、その後の回復や病気の再発をどれくらい正確に予測できるかを、過去の診療記録を使って確認します。目的は ① コルチゾールが元の正常なホルモンバランスに戻り内服を終了できるかどうかを予測すること と、 ② 再発のリスクが高い患者さんを早めに見つけること です。最終的には、無駄な薬の服用や通院を減らし、患者さんの生活の質を高めることを目指しています。

【研究期間】

2025 年 9 月 19 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、MRI 画像データ、薬歴、看護記録

【研究代表者】

該当なし

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：内分泌代謝科 竹下章

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2025 年 12 月 31 日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 内分泌代謝科 竹下章

電話 03-3588-1111(代表)